

自己点検・自己評価報告書

令和2年6月30日現在

明治東洋医学院専門学校

令和2年6月30日作成

目次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1	基準 4 教育成果	24
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか.....	2	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか.....	25
1-2 学校の特色はなにか.....	3	4-19 資格取得率の向上が図られているか.....	26
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	4-20 退学率の低減が図られているか.....	27
基準 2 学校運営	5	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか.....	28
2-4 運営方針は定められているか.....	6	基準 5 学生支援	29
2-5 事業計画は定められているか.....	7	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	30
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	8	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	31
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	9	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	32
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	11	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	33
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	34
基準 3 教育活動	13	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	35
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	14	5-28 保護者と適切に連携しているか.....	36
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか.....	15	5-29 卒業生への支援体制はあるか.....	37
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	16	基準 6 教育環境	38
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか.....	17	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか.....	39
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	18	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	40
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか.....	19	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	41
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	22		
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	23		

基準 7 学生の募集と受け入れ..... 43

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか.....44
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....45
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....46
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか.....47

基準 8 財務 48

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....49
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....50
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか.....51
- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか.....52

基準 9 法令等の遵守..... 53

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....54
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....55
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....56
- 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか.....57

基準 10 社会貢献 58

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....59

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、「人と人との和」「人と自然との調和」「東洋と西洋の融和」の三つの「和」を建学の心とし、医療人の育成に努めている。</p> <p>本校の目的について、学則第3条により「学校教育法及びあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律並びに柔道整復師法に基づき、はり師、きゅう師又は柔道整復師に関する知識及び技能を教授し、もって現代に立脚した合理的思考のできる有資格者を養成するとともに国民の健康保持・増進に寄与する有為の人材を育成すること」、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師に係る学校養成施設の教員を志望する者に対し、教員として必要な高度の専門教育を施し、すぐれた教員を養成し、もって学校養成施設における教育の充実、向上に寄与すること」と定めている。</p> <p>これらの達成のため、講義、実技、実習を通じ次の教育目標を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施術者として必要な基本的治療ができる知識・技術・態度を修得する。 ・医療人として信頼・尊敬される人格を形成する。 ・科学的・合理性のある考え方を修得する。 ・社会の要請に即した医療人を育成する。 <p>これらの教育理念、目的、人材育成像について、学校案内、学生便覧、ホームページ等にて情報を発信し、学内外に広く周知されるよう努めている。</p>	<p>「和の精神」を真髓となし、東西両医学を有機的に関連づけて、社会および国民の医療に貢献できる真の医療人を育成することに他なく、「人と人との和」・「人と自然との調和」・「東洋と西洋の融和」を掲げ、これを成し遂げていく。専修学校の目的は、「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」としており、専門的職能と医療人として相応しい人間性を育むため、実技教育と人間教育を重視している。</p>

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	本校は医療人を養成することから、その理念、目的、育成人材像は、解りやすい表現で、明確に定められるべきである。	学生便覧、学則第3条に明確に定めている。		学則 学生便覧
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	講義、実技及び臨床実習を通じ、医療人としての人格の形成に努めるべきである。	実技実習を通じ、医療に携わるもののコミュニケーション能力、倫理観、態度の修得に努めている。		
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	理念は時代を超えて普遍的なものであることから、原則、変更することはない。しかしながら、教育目的は社会状況の変化を考慮し、カリキュラム、授業内容については、社会状況を鑑み対応しなければならない。	平成29年4月の法改正に基づく新教育課程が2020年度に完成年度を迎えようとしていることから、教育課程の問題点、改善点を検討する。		
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	理念、目的、育成人材等について、教職員並びに学生だけでなく、広く学外にも周知させるべきである。	学内においては、教員会議、学生便覧等で周知をはかり、また、学外においては、ホームページ、学校パンフ等で広く公表している。		学則 学生便覧 明治東洋医学院専門学校ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像について、明確に定め、学内外に周知する。	教育理念等については開講以来今もなお変更することなく引き継がれ、カリキュラム等については、完成年度を迎える年度に問題点の改善、臨床実習の充実に取り組んでいる。

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	常に教育課程の充実に努め、社会のニーズに対応できる医療人、教育者を育成する。 国家資格取得 100%を目標とし、個別学修支援を実施する。 医療機関、スポーツ現場、附属治療所、介護施設等との連携を強化し、臨床実習の充実（早期体験→見学→補助→実践）及び就職先の充実に努める。 医療資格に加え、JATAC 認定アスレティックトレーナー、JSTA 認定スポーツアロマトレーナー、JAA 認定アロマコーディネーター等の資格取得も可能である。 W ライセンス（鍼灸師、柔道整復師）の資格取得を支援する。 学納金については、既修得単位の減免制度を導入する。	各学科とも実技・実習を重視した教育に取り組んでいる。また、卒業後も卒業研修会を定期的に開催し、自己研鑽を支援し、社会の要請に対応できるよう生涯教育に取り組んでいる。 国家資格取得に関し、2020年3月卒業生は、鍼灸学科においては、はり師 94.5%、きゅう師 93.2%、柔整学科においては、柔道整復師 87.8%の結果であった。その他、教育課程以外において、学生一人ひとりが確実に目標としている知識や技術に到達するまで指導するフォローアップセミナー、スキルアップセミナーを実施し、個別学修支援体制が充実している。	課題：伝統、卒業生数、学びの環境、専門分野に秀でた専任教員、充実した教育内容など、本校の強みとして掲げているところではあるが、入学者の確保が厳しい。 解決方向：教職員一丸となって、本校の強みを伸ばし、弱みの改善に努める。	明治東洋医学院専門学校ホームページ 学生募集パンフレット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学年毎に、知識、技術の到達目標を掲げ、期末試験、実技試験により評価を実施している。	基礎となる教育課程以外に、将来を広げ、専門性を高めたい学生を支援する資格取得の講座、卒業生によるスキルアップ講座を別途開講している。また、星槎大学との連携により、学士取得にむけたプログラムの構築を進めている。

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	<p>学校法人明治東洋医学院として、中長期計画を策定する。その中で学校の将来構想の基本方針は、次のとおりである。</p> <p>① 優れた人材を確保し、専門学校の役割である職能教育の徹底化とブランド化を進める。</p> <p>② 臨床教育の一層の充実をはかる。</p> <p>③ 上記の構想を達成するためには、教員の資質向上が重要であり、そのために大学との人事交流及び組織的な研修制度を構築し、実施する。</p>	<p>本校は、姉妹校に明治国際医療大学（鍼灸学部、保健医療学部、看護学部）を有し、また、大学には附属病院、大学院博士課程を開設している。この大学の附属施設である鍼灸センター、京都駅前及び桂川駅のイオンモール内にある鍼灸院を実習施設として活用し、臨床実習の充実に努めている。更に、平成30年4月1日付けで、専門学校校地内に大学附属の吹田クリニックを開院し、実習施設の充実に努めている。</p>	<p>課題：経営の基盤となる学納金収入（学生定員の充足）の確保が大きな課題である。</p> <p>解決方向：教職員一丸となって学生支援、満足度の高い教育、卒業生との連携に努める。</p>	<p>2019年度事業報告書 2019年度事業計画書</p>

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生定員の充足にむけて、教職員一丸となった広報活動、更なる学生満足度の高い教育、卒業生との連携に取組む必要がある。</p>	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校運営について、毎年度、学院全体として捉え、大学、附属病院、専門学校等の部門ごとに事業計画書を作成し、理事会、評議員会の承認を得て、実施している。</p> <p>学校運営組織としては、毎月、部長以上で構成される管理運営会議、専任教員で構成される教員会議、教育委員会等の各種委員会を開催し、学校運営、教育の充実に取り組んでいる。</p>	<p>学校としての、2019年度の基本計画は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学定員充足率の改善 2. 国家試験合格率の改善 3. 学生支援体制の強化（留年、休退学率の抑制） 4. 高等教育の無償化、負担軽減方策への対処 5. 施設利用の推進 6. 経費削減の推進 7. 地域及び関連企業との連携強化 8. 附属治療所の運営強化

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	学院評議員会、理事会において承認された事業計画、予算に基づき、運営する。	毎年度、承認された事業計画書に基づき、運営している。		2019年度事業計画書
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	学院評議員会、理事会において承認された事業計画について、教職員全員に告知する。	毎年度4月1日に学校教職員全員に対し、教職員連絡会を開催し、当該年度の運営方針について、説明会を実施し、周知徹底を図っている。		2019年度事業計画書
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	社会の状況に応じ、必要とされる規程の改善、整備を実施する。	学院規則は、常務理事会において、社会の状況に応じ常に整備を行っている。また、学校における各種規程については、管理運営会議において必要に応じ見直しを実施している。		学校法人明治東洋医学院規則集 明治東洋医学院専門学校規程集

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>毎年度作成している事業計画書は、学院評議員会、理事会において承認されており、この事業計画書に基づき、当該年度の学校予算運営方針を定めている。</p> <p>周知は、毎年度始めの4月1日に実施する教職員連絡会において徹底する。</p>	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	年度毎に詳細な事業計画を定め、学院評議員会、理事会にて承認を得る。	毎年度、部門毎に事業計画書を作成し、評議員会、理事会において承認を受け、遂行している。	課題：事業計画に掲げている目標数値に到達していない。 解決方向：教職員一丸となって学生支援、更なる教育の充実、卒業生との連携の強化に取り組む。	
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	全教職員の周知徹底をはかり、事業計画に基づき、運営を行うよう努める。	事業計画書に基づき学校運営が遂行されたかどうかについて、翌年度の2ヶ月後までに事業報告書を取り纏めて、公表している。		2019年度事業計画書 2019年度事業報告書 学校ホームページ 明治国際医療大学ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、部門毎（学校、大学、附属病院）において事業計画書並びに事業報告書を作成している。事業計画書は常務理事会において精査され、学院評議員会、理事会において承認を経ている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	学院の組織及び運営に関する規則に基づき、運営組織図を明確化する。	学校法人明治東洋医学院の組織及び運営に関する規則に基づき、運営組織図を作成している。		学校法人 明治東洋医学院組織及び運営に関する規則
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	学院の組織及び運営に関する規則に基づき、速やかな意思決定と効率的な運営を目指す。	学院の組織及び運営に関する規則及び組織図に基づき、指示命令系統が明確にされており、効率的な運営の実施に取り組んでいる。		学校法人 明治東洋医学院組織及び運営に関する規則
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	学院の組織及び運営に関する規則の職務、事務分掌に基づき、明確化する。	学院の組織及び運営に関する規則の職務、事務分掌に基づき、明確に定められている。		学校法人 明治東洋医学院組織及び運営に関する規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学院の組織及び運営に関する規則に基づき、組織運営を遂行している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	1. 学校運営の状況により、必要な人材を確保し、配置する。 2. 定期的な FD、SD 研修により、人材育成を実施する。 3. 関連学会、企業等の連携に努め、専門的な知識・技能の修得、情報収集の支援に努める。	学校運営の状況を加味し、法人本部人事課において人員の確保及び配置を行っている。 人材の育成、研修については、次のとおりである。 加盟している公益社団法人東洋療法学校協会及び全国柔道整復学校協会主催の教員研修会への参加や外部講師を招き、組織的な研修会を実施している。	課題：必要とする専任教員数が満たしていることから、新たな人材の確保が行えていない。 解決方向：配置している教職員の積極的な研修会への参加等により、知識、技術の向上に取り組む。	
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	人事考課制度により、客観的かつ公平な人事考課を実施する。	法人本部で作成された目標管理シートに基づき、人事考課を実施している。	課題：各々が掲げている目標が個人レベルである。 解決方向：学校が掲げている事業計画と個人目標との関連性を強化する。	目標管理シート
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	人事考課制度により、昇進、昇格について客観的かつ公平に実施する。	法人本部で作成された目標管理シートに基づき、人事考課を実施し、整備している。		
2-7-12 賃金制度は整備されているか	学院の職員給与規程に基づき、支給する。	学院の職員給与規程に基づき、支給している。		学院 就業規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	就業規則に基づき、人事採用試験を実施する。	法人本部人事課において、大学ホームページ等により、学外に広く募集を行い、採用試験の実施により、採用を決定している。	課題：専任教員数が基準を満たしていることから新たな教員の確保をしていない。 解決方向：教員養成学科卒業生の非常勤講師としての採用を検討する。	学院 就業規則
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	法人本部人事課において、教職員の増減について、常に労働者名簿により明確に把握する。	採用、退職等の人事に関する管理は、全て法人本部人事課に集約し、管理を行い、毎年度事業報告書において、広く公表している。また、大阪府が実施する基礎資料調査報告等により、明確に把握している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事及び賃金等に関する規程は、学校法人明治東洋医学院 就業規則で定め、整備している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	学校法人 明治東洋医学院寄附行為に基づき、理事会を中心とした意思決定システムを構築する。	学院においては、常務理事会、理事会、評議員会、学校においては、管理運営会議、教員会議を定期的に行い、意思決定システムを確立している。		常務理事会議事録 理事会議事録 評議員会議事録 管理運営会議議事録 教員会議議事録
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	寄附行為に基づき、評議員会、理事会等を開催する。	寄附行為により制度化されている。		学院 寄附行為
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	寄附行為、組織及び運営に関する規則に基づき明確に実施する。 学校運営の状況により、必要な人材を確保し、FD、SD 研修会を通じ、資質の向上に努める。	学院においては、寄附行為及び学院就業規則に基づき、意思決定の階層、権限を明確にしている。また、学校においては、管理組織図に基づき、意思決定を明確にしている。		学院 寄附行為 学院 組織及び運営に関する規則 学校組織図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
寄附行為に基づき、意思決定のシステムが確立されている。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	教職員内において、LAN 構築がなされており、業務の迅速化、効率化をはかる。	学校内における LAN 構築を実施しており、情報の共有、業務の効率化をはかっている。 また、入試、教務、同窓会、図書システムの構築を行い、業務の効率化に取り組んでいる。	課題：システムに卓越した人員の配置。 解決方向：外部業者委託により実施。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務の効率化を図るため、職員全員が専用のパソコンをもち、学校内 LAN を構築し、情報の共有や業務の効率化をはかっている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>鍼灸学科では、内部質保証としては基本的な臨床能力を修得し、臨床実践ができるようにするために本校独自に臨床テキストを作成し、それを基本とした臨床教育システムを構築している。臨床テキストは、主として基本となる診療技術と診療手順を修得するためのテキストであり、東洋医学と西洋医学を統合した独自の構成になっている。特に実習においては、徹底した実技指導を通して知識と技術が修得できるようにしている。このことにより、次の臨床実習に繋げる。また、学習支援セミナーにより、学生の個別フォローやスキルアップを図り、臨床力を高める工夫を行っている。</p> <p>さらに、実技教育の集大成である臨床実習を行うにあたっては基本的な診療技術を修得するための実技・実習が多数用意され、合わせて形成的評価として OSCE 形式による臨床実習前試験を行いこれに合格することが臨床実習に進むための条件となっている。また、卒業時には総括的評価として卒業実技試験を行うことにより 3 年間の学習の成果を適切にチェックしている。これらと併せて、第三者評価として東洋療法学校協会によるはりきゅう実技評価試験を受けることで、はりきゅう実技の基礎技能の客観的な評価を受けている。</p> <p>柔整学科では、解剖学、生理学の科目で、人体の構造と機能を学習し、西洋医学科目等で、疾患が医療安全の観点から業務範囲であるかどうかを適切に判断する知識を身につけ、職業倫理、ルールを遵守しながら誠実、公正に職務を遂行する能力及び取り組む姿勢を修得している。柔道整復の専門科目で、柔道整復術の適応を基礎から応用へと段階的に学習することにより、疾患に対して柔道整復術が適応されるか否かの判断能力を養い、柔道整復術を段階的に修得、また、段階をふんだ臨床実習で、見学、臨床補助を通じ、最終的には、自らの判断による応急処置の実践ができる臨床力の修得に努めている。</p> <p>両学科ともに学生満足度の高い授業の実施と教育効果の向上を目指し、学生の授業評価を行い、教員へフィードバックしている。また、国家試験合格率 100 パーセントを目指し、万全のサポート支援体制（対策講座、個別指導、独自テキスト活用等）を実施している。</p>	<p>設置する鍼灸学科、柔整学科、教員養成学科の 3 学科とも、「アドミッションポリシー」、「ディプロマポリシー」、「カリキュラムポリシー」を明確に定め、ホームページにおいて、広く公表している。</p>

最終更新日付	2020 年 6 月 30 日	記載責任者	井上 基浩
--------	-----------------	-------	-------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
--

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	本校においては、①基本的な診療ができること、②規則を遵守し、礼儀を重んじる態度を育成すること、③実技及び臨床実習を通して医療人として必要な倫理感・態度・習慣を身に着けること、の三点を重点事項として日頃心がけるよう指導し、信頼される医療人であり、社会人になることを目標としている。	個人施術所等への訪問や就職相談会を実施することで業界の人材ニーズを把握する。講義、実技実習、臨床実習において業界のニーズレベルに適するよう指導している。	課題：業界の求める人材像は、向上心のある学生、一般常識のある学生、思いやりのある学生である。これら医学教育では教授し難い内容の教育への反映。 解決方向：人材ニーズの更なる聴取に関しては、教育課程編成委員会にて開業している委員からの意見を求める。	教育課程編成委員会会議資料

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界のニーズレベルに適するべく、医療人として相応しい人間性を育むため日頃より常に心がけ教育を実践している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	業界（求人先、個人施術所経営の卒業生）等よりニーズレベルを聞き取り、教育にフィードバックすることによりニーズレベルを担保している。 詳細についてはシラバスで明記する。	個人施術所等への訪問の実施や卒業生セミナーの実施により情報を収集している。	課題:業界の求める人材ニーズは多種多様であり、限られた期間での一般レベルから特殊技術レベルまでの内容の教授方法。 解決方向:人材ニーズの詳細な分析を行い、より簡潔で効率の良い教育日程の作成と個々のシラバスの見直し。	シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界の求める人材ニーズレベルを教室での講義の中で、すべて教授することは不可能であるため、校内の附属治療施設、学外実習等臨床実習の現場において直接、担当者より学生に教授することでニーズレベルをできる限り担保することを心がけている。また、次年度に向けたカリキュラムの見直し、教育内容を検討している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	認定・指定規則に基づき編成されている。	国家試験の合格を目指し、教育を実施している。また、卒後の即戦力を養うための臨床実習も指定規則に基づき、実施している。	課題:臨床実習は実習施設により内容に差異がある。 解決方向:差異があることを活かし、学生の将来像にあった実習施設の選択を試みる。	認定・指定規則 シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	卒業生や他の教育施設、学会役員と連携を取り、必要事項を検討し、カリキュラムに反映している。	年2回の「教育課程編成委員会」の開催を実施し、反映している。また、外部臨床実習により、評価者と意見交換を実施している。		教育課程編成委員会会議資料
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	本校教育委員会においてカリキュラムの骨子を策定し、原案を作成し授業担当者の意見を反映させカリキュラムを作成する。	原案に科目担当者等の意見をふまえ、より効率的で現実的な教育を実践している。		学則 シラバス
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	学生目線にたったカリキュラムの作成に心がけ、検討を継続し、定期的な見直しを実施する。	日々変化する、社会状況や業界の情報をいち早く収集し、より教育効果の高いカリキュラムの作成を心がけ、定期的カリキュラムを変更している。また、新カリキュラムが完成年度を迎えることから、問題点等の整理を行い、検討をすすめる。		学則 シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
今後は学生のニーズ、学習レベル、および将来の目標など個々に対応した弾力的かつ教育の質を保証するために卒業時の到達目標を設定したカリキュラムを編成する。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

井上 基浩

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	基礎から応用へと段階的な科目の構築をすすめ、適正な位置づけをなす。	現状において考え得る、より教育効果の高いカリキュラムを実践している。	課題：更なる教育効果の向上。 解決方向：シラバス、教員による授業参観等での内容の精査を実施し、より高いレベルでの教育を実践する。	シラバス
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	シラバスについては、授業内容、授業における注意事項、定期試験受験資格、成績評価等を明記する。	毎年、科目担当者が作成し、学科で精査した後、学生に配布、説明をしている。	課題：更なる明瞭なシラバスの作成。 解決方向：学生へのアンケート調査により、改善に取り組む。	シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	シラバスには、授業計画として毎回の授業内容を記載する。	科目担当者が個々に作成し、各授業初回時に配布している。また、ホームページに公開している。	課題：更なる明瞭なシラバスの作成。 解決方向：学生へのアンケート調査により、改善に取り組む。	シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスは、本校の教育の指針となることから、十分に内容を検討し、学生に提供する。また、ホームページ上で、広く公表する。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	各学科各学年とも各学期終了後に授業評価アンケートを実施する。	各学期の最終授業時に授業評価アンケートを実施している。	課題：アンケート結果の精査が十分とは言えない。 解決方向：アンケート結果を精査し、次年度教育に反映する。	授業評価アンケート
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	授業評価アンケートを基に、授業担当者へのフィードバックを行う。また、学校内においてもアンケート結果を公表し、改善、検討を行う。	成績評価終了後に、学生からの授業評価アンケートを授業担当者へ手渡し、個々の改善に努めている。また、校長及び学科長がアンケート結果の確認を行っている。	課題：アンケート結果の精査が十分とは言えない。 解決方向：アンケート結果を精査し、次年度教育に反映する。	授業評価アンケート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
更なる教育効果の向上をめざし、アンケート評価の問題点の改善努める。 また、教員間による授業評価（公開授業）を検討する。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	臨床経験豊富な医師や鍼灸師、柔道整復師など、医療人として、また、研究者として第一線で活躍する講師陣を確保する。	本校教員養成学科卒業生や明治国際医療大学大学院修了生を中心に採用を実施しているので、教員としての適性等の判断は可能である。		履歴書
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	業界レベルに対応した専門性レベルを有する人材を講師陣として採用する。	学会発表などの研究実績をはじめ、業界では専門性レベルの高い講師陣を配置している。	課題：専門レベルの維持 解決方向：専門学会や研修会への参加を促し、専門性のある講演依頼等も積極的に受諾するよう努める。	学会抄録
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	学科内において、個別に面談等を実施し、教員の専門性を活かした科目を担当させる。	学会参加、学会発表、研究実績等、専門性の把握に努めている。	課題：専門性の更なる強化と専門性を有する新たな教員の育成 解決方向：専門性の適性判断等の行える人材による指導。	
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	教員の専門性を高めるため、積極的にFD研修、学外研修、学会参加を推奨する。	各教員の専門性レベルに応じた学外研修を推奨・支援している。		学会抄録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	教員としての適性や教授力は、本校での教育にとって最も重要なファクターであるため、継続して教員個々の教授力の向上をめざし学校としての把握を行う。	現在、教員に対する評価委員会等は設置されていないが、学科内においては、副校長、学科長が個々の教員評価を行い、また、学生による授業評価アンケートを実施している。		授業評価アンケート
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	姉妹校の明治国際医療大学や他の大学等への研修を薦める。また、学校協会が主催する教員研修会への参加、個々が加入している学会等への参加を促す。	学校協会主催の外部研修会等への参加、個々が加入している学会等への参加を実施し、各個人が研鑽に努めている。		東洋療法学校協会、全国柔道整復学校協会教員研修会
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	非常勤講師も含め、継続的に学科長を中心に協議を実施し、授業の教育効果向上を図る。	学科ごとの教員会議において、問題点の共有、それに対する改善策の協議を実施している。	課題：教員間の更なる情報の共有とコミュニケーション。 解決方向：専任教員間、また、非常勤講師との連携の場を定期的に設ける。	学科教員会議資料
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	本校教育目標にもとづき非常勤講師個々の専門性を勘案した上で講義を依頼する。	非常勤講師の専門性を把握した上で、その専門性に応じた授業を依頼することで協業を実施している。	課題：非常勤講師間の更なる情報の共有とコミュニケーション。 解決方向：非常勤講師間の連携の場を設ける。	シラバス 授業評価アンケート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	適性、教員資格、実績等を勘案し採用を決定する。	あはき師、柔道整復師養成施設の関連規則、専修学校設置基準に基づく教員資格を確認し、非常勤講師の募集を実施している。	課題：教授力の評価・判断。 解決方向：採用にあたっては、専門性、人間性はもとより、模擬授業を行うなど、教授力を評価する制度を導入する必要がある。	履歴書等

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
姉妹校の明治国際医療大学をはじめ、本校教員養成学科卒業生、教員資格のある業界人等から広く公募を行い採用者の決定を行っている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学生便覧等に記載し、成績評価・単位認定の基準を明確にする。	成績評価・単位認定の基準（各科目 60 点以上）は明確であり、所定の基準を充たした者が単位を認定（秀、優、良、可）されている。また、基準の明確化を行うため、GPA 制度の導入を実施している。	課題:基準は明確になっているが、単位認定のための評価試験の難易度は講義担当者の判断により一律ではない。 解決方向:合格基準を満たす難易度をなるべく統一するために、各学科内で検討を重ねる。	学則 学生便覧
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	高等教育機関及び厚生労働大臣の指定を受けた養成施設（医療関係職）との単位互換について、明確な基準を定める。	他の養成校等で取得した単位は、認定・指定規則に基づき、既修得単位として認定を行っている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定の基準は、学則に明記されており、学生便覧等で学生に周知を行っている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	認定・指定規則に基づき、カリキュラムを決定し、国家資格取得を目指す。	知識面においては、専門基礎科目、専門科目において、明確に定めている。技術面においては、臨床実習の意義を明確にし、臨床実習Ⅰから臨床実習Ⅳまで、段階的に学生が実習に取り組む知識、技術の修得にむけた教育課程を進めている。		学則
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	国家資格取得に向けた教育課程とする。	教育課程表に基づき履修しているが、単位修得が困難な学生についてはフォローアップセミナー、さらに上の知識・技術を求める学生にはスキルアップセミナー等の講座を開設し、国家資格取得に向け、取り組んでいる。		シラバス フォローアップセミナー スキルアップセミナー

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
フォローアップセミナー、スキルアップセミナー、聴講生制度等を実施することで、国家資格取得に向けた個別に対応できる万全な体制を取り、教育的な学生支援を実施している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）																			
<p>本校では、先に記載のとおり「人と人との和」「人と自然との調和」「東洋と西洋の融和」という三つの「和」を建学の心とし、医療人の育成に努めている。したがって、本校の最終的な教育効果は国家試験の合格にとどまらず、西洋医学と東洋医学の双方から診療ができ、患者さんにとって最適な治療が提供できるよう常に何が最善の治療なのかを見極め、そして実行する事が治療家としての心であるとの教えを、本校の柱として教育を行っている。その精神が長年に亘り受け継がれ、多くの事業所に卒業生が採用され、その事業所から継続して求人依頼があることこそが本校の教育の効果である。</p>	<p>教育成果は、国家試験合格率により、示される。 過去3年間の合格率は、次のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1160 411 1921 555"> <thead> <tr> <th></th> <th>はり師</th> <th>きゅう師</th> <th>柔道整復師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年卒業生</td> <td>94.5%</td> <td>93.2%</td> <td>87.8%</td> </tr> <tr> <td>2019年卒業生</td> <td>96.9%</td> <td>96.9%</td> <td>94.1%</td> </tr> <tr> <td>2018年卒業生</td> <td>63.0%</td> <td>67.1%</td> <td>94.0%</td> </tr> </tbody> </table>					はり師	きゅう師	柔道整復師	2020年卒業生	94.5%	93.2%	87.8%	2019年卒業生	96.9%	96.9%	94.1%	2018年卒業生	63.0%	67.1%	94.0%
	はり師	きゅう師	柔道整復師																	
2020年卒業生	94.5%	93.2%	87.8%																	
2019年卒業生	96.9%	96.9%	94.1%																	
2018年卒業生	63.0%	67.1%	94.0%																	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職率 100%を目指す。	就職率の向上にむけ、就職相談会を開催している。また、定期的に就職状況のアンケートを実施し、卒業後も進路調査を続けている。	課題：新たな就職先の開拓。 解決方向：新たな就職先の確保に向けて、企業訪問を強化する。	
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	定期報告に基づき、就職成果とその推移に関する情報を把握する。	毎年、認定、指定規則に基づき、就職成果の報告を行い、就職の推移を把握している。就職率については、学校案内、ホームページ等で公表している。		学校案内 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職を希望する学生の就職率は、常に 100%を目指している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	国家試験合格率 100%を目指す。	2020年3月卒業生の資格取得率は、鍼灸学科においては、はり師 94.5%、きゅう師 93.2%、柔整学科においては、柔道整復師 87.8%である。	課題：100%の目標には達していない。 解決方向：模擬試験、国試対策授業等において客観的に自己成績を認識させ、危険ゾーンの学生に対しては指導を強化する。両学科ともに、クラスアドバイザーによる成績状況等の把握を強化し、個々に応じた適切な指導を推進する。	国家試験学校別合格一覧
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	厚生労働省において、受験番号による合格者が公表されているため、本校受験者の合否の把握は明確である。	合格発表日に本校学生の合否確認を行い、教職員には、連絡会議及び教員会議において周知を図っている。		国家試験学校別合格一覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
期末試験、模擬試験の結果を基に、資格取得が難しいと判断した学生に対し、専任教員が課題を与え、個別指導を行い、資格取得の支援を実施している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が図られているか	成績不振や学習意欲が低下している学生に対し、面談を重点的に実施し、退学することがないように個別にサポートする。	クラスアドバイザーを中心に教職員が一体となり、退学に繋がる可能性のある状況を早期に把握しつつ、教育的・経済的なサポート体制を取り、面談を実施している。加えて保護者との連携の強化を図り、早期対応に努めている。	課題：退学者が存在する。 解決方向：教職員がさらに主体的に早期に対応策を講じることが重要である。	
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	入退学者数については、教職員が積極的に情報を把握する。	入学者、退学者については、関連の会議のほか、管理運営会議、教員会議等で随時報告を行っている。		管理運営会議議事録 教員会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学者が初期の目的を達成できるよう、フォローアップセミナー等を活用した教育的な学生支援、本学院独自の奨学金、特待生制度を活用した経済的な学生支援、生活面でのクラスアドバイザーによる学生支援等をさらに充実させ、学生にとって満足度の高い学校とし退学者の低減を目指している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	ア 方針	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	教育効果を把握し、現状の教育方法等を改善する目的から、既卒者の動向については同窓会と連携し把握する。	卒業生については、同窓会の名簿作成や既卒者からの求人依頼、業界団体の役員名簿により、動向を把握している。	課題：卒業後、取得した国家資格以外の職に就いた場合の動向の把握が困難。 解決方向：卒業生が学校と関わり易い環境の構築。	卒業生名簿データベース
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	すべての卒業生が特筆すべきものであって、例をあげることはできない。	学校案内及びホームページにおいて、数人ではあるが卒業生を紹介している。		学校校案内 ホームページ
4-21-9 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	「患者さんにとって何が最適な対応かを見極めることが医療人として必要不可欠である」との基本理念に基づき、社会に認められ、患者さん、医療関係者から信頼される「はり師」「きゅう師」「柔道整復師」の養成に努める。	建学の心を理解し、患者さん及び医療関係者から信頼され、かつ社会に認められ、必要とされる医療人となり、さらには研究・教育の分野でも評価される人材の育成に努めている。		
4-21-10 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	すべての卒業生が特筆すべきものであって、例をあげることはできない。	教育・研究分野にあたっては各種学会等で多く発表されている。		学会抄録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在、15,000 余名の卒業者を輩出し、業界では一歩リードをしている本校の責務は決して少なくないものと認識している。今後、本校を卒業する在学学生には業界の発展に寄与する人材として大きな期待がかかっていることから、教職員は本校のミッションをしっかりと認識し、それを実行し、推進する覚悟を持ち、学生の育成にあたっていきたい。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

井上 基浩

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、次の学生支援体制を整備している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学修支援 <p>授業の理解度を深めるため、専門基礎科目を中心に成績不良者を対象とした「ファローアップセミナー」、更なる知識、技術の修得の向上を目指す学生を対象とした「スキルアップセミナー」を開講し、個々の学習環境にあったサポート体制を整備している。</p> 2. キャリア支援 <p>3年次に就職に関するアンケートを定期的実施し、就職に対する意識の向上に努めている。また、就職を控えた3年生全員に対し、就職説明会を実施し、就職相談会の開催の案内及び積極的な参加を呼びかけている。</p> 3. 学生支援 <p>学生生活において、クラスアドバイザー（専任教員）を中心に教務課、学生課による学生動態の把握に努め、成績不良及び出席不良者に対する早期個別指導体制を整備している。また、保護者との密な連携をとることができるよう保護者説明会を実施している。</p> 4. 健康支援 <p>附属治療所並びに専門学校校地内に設置された姉妹校の明治国際医療大学附属のクリニック（内科、心療内科等）において、学生の健康管理の整備に努めている。</p> 	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	多数の施術所、施設、医療機関から求人希望を募ることができるよう、日頃から連携を図ると同時に新規就職先確保に取り組む。 提出された求人票を基に、就職を希望する学生に案内し、高い就職率を確保する。	求人票は、コンピューター教室にて自由に閲覧できるようにしており、希望する就職先があれば、個別に斡旋を行っている。	課題：資格取得が3月末であることから、学生の就職に対する意識が低く、就職活動が遅い。 解決方向：低学年から長期休暇中等を利用し、治療院等の見学を勧める。	
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	3年生全員に対し、就職に関する説明会を実施し、定期的な就職相談会を開催する。	3年次の4月に進路に関するアンケートを実施。8月末から10月初旬にかけて、3年生全員を対象に就職に関する説明会、就職相談会開催の案内及び就職希望に関するアンケートを実施している。		
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	相談窓口を明確にし、学生個別相談を実施する。	担当者（学生課）を配置して、学生個別相談に対応している。		
5-22-4 就職の具体的活動（履歴書の書き方など）に関する指導を実施しているか	面接に対する態度、服装、就職先に確認すべき点等、指導を徹底する。	面接等の日程が決定した時に面接の取り組み方等、個別指導を実施している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的なアンケートを実施することにより、就職に対する意識の向上に努めている。求人票は、WEB上で自由に閲覧できるように管理しており、希望する就職先があれば、個別に対応を実施している。また、企業等にも来校いただき、定期的な就職相談会への参加を依頼する。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	クラスアドバイザー、学科長、学生課、教務課との密接な連携により、学生相談に対応する。	クラスアドバイザー、事務局担当職員との密接な連携により個別に対応しており、有効に機能している。		
5-23-6 学生相談室を開設しているか	常時学生からの相談に対応できる学生相談室を設置する。	個別に常時学生からの相談に対応できる相談室を開設している。	課題：クラスアドバイザーに直接相談するケースが多く、相談室の利用は少ない。 解決方向：相談室の存在の周知に努める。	
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	定期的に専用カウンセラーを配置する。	クラスアドバイザー、事務局担当職員との密接な連携により対応しているが、専用カウンセラーの配置は行っていない。しかし、校地内に大学附属のクリニック（心療内科等）が開設されたことから個別に対応できる体制は整備されている。		
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	留学生が在学する場合は、個別に対応できる学生相談窓口を整備する。	現在は、留学生が在籍していない。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に対し、常時対応できるようクラスアドバイザー及び担当者を配置している。心理的な悩みを抱えている学生に対しては、校地内に開設しているクリニックの利用を勧める。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

井上 基浩

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	日本学生支援機構の奨学金、学院奨学金により、経済支援体制を整備する。 また、学費の支払制度について、一括納入だけでなく、分納、延納制度を設け、支援する。	日本学生支援機構の奨学金、学院奨学金により、支援を実施している。また、学費納入に際し、分納、延納制度を設け、学業に専念できるように機能している。		学院 奨学金規程 学生募集要項
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	日本学生支援機構の奨学金、学院奨学金により、支援体制を整備する。	日本学生支援機構奨学金、独自の学院奨学金制度を設け、学生に周知を行い、貸与している。		学院 奨学金規程 学生募集要項
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	学生からの願い出により、学費の分納、延納制度を許可し、学業に専念できるよう配慮する。	学費の分納、延納を許可し、面談のうえ、学生にとってよりよい方法を提供している。		学則 学生便覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会の経済状況により、経済的に厳しい学生が増加の傾向にあり、国の教育ローン、日本学生支援機構奨学金の案内、学院奨学金制度を整備している。また、一括納入できない学生について、分納、延納制度を整備し、学業に専念できるように対応している。</p>	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	毎年度始めのオリエンテーション時に全学生を対象とし、健康診断を実施する。	(財)日本予防医学協会に委託し、毎年度始めのオリエンテーション期間中を利用し、全学生を対象とし、健康診断を実施している。		
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	学生の健康管理に対応できる施設を設置する。	本校には、附属治療所を設置しており、医療資格をもった教員が常駐している。 また、校地内に大学附属クリニックがあり、健康管理に有効に機能している。		
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	教員が医療資格者であることから、学生からの健康相談に対応する。 また、校地内に大学附属クリニックがあることから、医師、看護師を常時配置する。	本校の教員は、医療資格者であることから、日常からの健康管理に対する相談対応ができています。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員が医療資格者であり、附属治療所に常駐していることから、学生の健康管理体制は常に整備されている。 また、校地内に姉妹校の明治国際医療大学附属クリニックを開設していることから、看護師、医師を常時配置しており、心理的な面も含め健康管理に努めている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	スポーツ等のクラブ活動、その他、課外活動に対する支援体制を整備する。	同好会活動規則、課外活動規則を整備しており、学生からの要望に応じ、クラブ活動の発足を支援している。		同好会活動規則 課外活動規則

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
アルバイト等をしている学生が多く、クラブ活動や課外活動に費やす時間の余裕が少ないことから、課外活動は、活発には実施されていないが、学生からの要望に対し、同好会活動規則、課外活動規則に基づき、クラブ発足等の支援体制を整備している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生の生活環境への支援に努める。	地方出身者の入学者がほとんどいないこと、また、近くにワンルームマンション等もあることから、学生寮は設置していない。住居の紹介を希望する学生には、信頼のおける指定不動産業者を推薦している。 また、校舎内に食堂を有し、食に対する支援、附属治療所、クリニックを有し、健康に対する支援に努めている。		学生募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学者の社会人比率が高いことから、支援実績は多くないが、信頼のおける不動産会社との提携により、生活環境への支援、また、食堂を整備することにより、食への支援に努めている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	未成年者の学生に対し、クラスアドバイザーと保護者との密な連携を構築する。	オリエンテーション時に保護者説明会を実施し、授業、成績、指導、学生生活等に対する説明、保護者との連携強化の依頼を実施している。	課題:保護者が学生本人の意思のとおりらせており、連携した指導が難しい。 解決方向:様々な問題点に対して、早期に保護者とのコミュニケーションを積極的にとるよう心掛ける。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
オリエンテーション時の保護者説明会の計画、未成年者の学生に対する成績、出席状況等を保護者に通知することにより、クラスアドバイザーと保護者とのより一層の連携を強化する。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	井上 基浩
--------	------------	-------	-------

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	同窓会が組織化され、毎年度活発な活動を実施する。	学校創立から、柔整学科卒業生は、「明柔会」、鍼灸学科卒業生は「明友会」として同窓会組織を結成し、生涯教育に取り組んでいる。また、教員養成学科については、平成 23 年度に同窓会組織を立ち上げ、定期的な研修に取り組んでいる。		明治東洋医学院専門学校同窓会会則 「明柔会」会則 「明友会」会則 教員養成学科同窓会会則
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	定期的な研修会の開催を計画し、充実した支援体制を実施する。	学校での定期的な研修会の開催、また、地方における支部組織を結成し、支部研修会を開催する等、生涯学習の支援体制が機能されている。	課題：同窓会活動に積極的に参加する卒業生が年々少ない。 解決方向：タイムリーな研修内容等の実施に努める。	同窓会会報

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
約 15000 名の卒業生を輩出しており、業界においても要職についておられる先生が多く、本校にとって、卒業生との連携は不可欠である。 本校では、同窓会が組織化されており、定期的な研修会の開催など活発な同窓会活動を実施し、生涯学習に取り組んでいる。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成元年の法改正に伴い、平成 4 年、現在の地に新築移転した。当時は、最新設備を完備し、他校にはない教育設備を配置していたが、約 27 年が経過したこともあり、設備等の改善が必要な箇所もでてきている。</p> <p>学院として、老朽化設備に対する中長期計画をたて、設備の更新、修繕等を進めていくこととしている。</p> <p>校舎内には、食堂及び約 13,000 冊の蔵書を有する図書室などがある。</p> <p>平成 17 年度には、トレーニング機器を完備した屋内体育施設を新築し、教育環境の充実に努めた。</p> <p>平成 28 年度には、「私立学校施設整備費補助金 エコキャンパス事業」の採択を得て、校舎内全トイレの改修工事を実施した。</p> <p>平成 29 年度には、校内に Wifi 環境を整備、併せて ICT 教育の検討を進めた。</p> <p>また、校地内に姉妹校である明治国際医療大学の附属クリニックを開設した。</p> <p>平成 30 年度には、台風の被害により、空調機器の更新を実施、また、校舎内の LED 化を実施した。</p>	<p>校舎内に食堂を有し、食の支援をする場だけでなく、個別学習の場としても利用している。また、校舎内は wifi 環境が整備されており、ICT 教育の推進に努めている。</p> <p>校地内には、大学附属のクリニック（内科、心療内科等）を開設し、健康面だけでなく、学生の心身の健康管理等にも努めている。</p>

最終更新日付	2020 年 6 月 30 日	記載責任者	藤井 義巳
--------	-----------------	-------	-------

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
--

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	施設、設備は、教育上の必要性に十分に対応できるよう整備する。	教育の必要性に応じ、適切な管理を実施している。		
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	外部委託業者により、施設、設備の維持管理に努める。	清掃、設備管理業者等と委託契約を行い、管理体制を整備しており、快適な学生生活の支援に努めている。		
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	学院全体として、施設、設備の更新に関する中長期計画に基づき、遂行する。	施設、設備の更新については、学院全体として捉え、現在、中長期計画の策定に取り組んでいる。簡易な改善については、都度対応している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
清掃、施設、設備等について、外部業者と委託契約を行い、学生が快適な学生生活を送れるよう管理を行っている。不備、不具合事項等に対する早期改善に努め、教育に支障がでることのないように取り組んでいる。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
---------------	------------	--------------	-------

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
--

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	学外実習、インターンシップについて、外部の関係機関と連携し、教育体制を整備する。	医療機関、老健施設、整形外科病院等との連携を密にし、充実した臨床実習教育が実施できるよう教育体制を整備している。		
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	学外実習、インターンシップについて、到達目標を設定し、教育効果を確認する。	研修終了後のレポート及び卒業時に実施する学外実習に対する評価アンケートにより、学生の満足度の状況を確認し、教育効果に努めている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、学外での臨床研修を実施することにより、医療人としての態度、心構え、倫理観等を学修している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	理事長を頂点とした防災体制を整え、災害発生時には、速やかな対応を実施する。	規則、規程等に基づく防災マニュアルの作成等、早急に整備する必要がある。	課題:防災に対する危機意識が職員を含め低い。 解決方向:日常から、防災に対する知識を行動に変えるよう積極的に取り組む。	
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	災害をおこす可能性のある設備・機器等の情報の共通認識に努める。	災害を起こす可能性のある設備、機器等については、外部委託業者が定期的に管理を行っている。		
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	実習時は、教員の管理が行き届くように常に配慮し、事故防止に全力を尽くす。また、実習前に必ず、学生に対しオリエンテーションを実施し、事故防止に努める。	医療事故防止に対する事前説明を行い、実習時は、教員が事故防止に努めることを徹底している。		
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	万が一の場合に備え、保険に加入する。	安心して学修できるよう、損害保険、賠償保険等に加入している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	防災訓練を実施しなければならない。	オリエンテーション期間中に学生に対し、避難誘導箇所の確認を実施している。	課題：十分な防災訓練が実施されていない。 解決方向：各々の防災意識を高め、定期的に昼間部、夜間部において防災訓練の実施に努める。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に避難経路等の確認を実施することにより、防災意識を高め、防災への対応マニュアルを整備し、防災訓練の実施に努めなければならない。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>志願者が必要とする情報を学校案内、募集要項、ホームページ等で詳細に掲載し、学生募集を行っている。また、学納金に関しても3年間に必要な金額を明確に記載し、入学辞退に対する対応についても、所定の手続きにより授業料の返還を行う旨の記載を行っている。</p> <p>オープンキャンパスを毎月実施し、参加者に本校の特色を理解してもらうよう教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>入学試験は、学則に基づき適正に実施し、選考は入試管理会議において公平に審査し、決定している。</p>	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	大阪府専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づき実施する。	加盟している大阪府専修学校各種学校連合会の入試選抜基準に基づき実施している。		募集要項 学校案内
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	学校案内等は、志願者、保護者等の視点に立ち作成する。	志願者、保護者等の視点に立ち、わかり易く、また、学校案内等を確認すれば学校の情報が全て理解できるよう作成に努めている。		募集要項 学校案内
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	事務局職員全員が電話相談等に対応できる体制とする。	入試専用のフリーダイヤルを設け、詳細な相談にも対応できる体制に努めている。		
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	定員充足にむけ、インターネットによる広報を中心に募集活動を実施する。	定員充足に向け、土、日曜日を利用した月に2度のオープンキャンパス、平日を利用した学校説明会を開催している。また、インターネットによる広報を強化し、ホームページの情報更新、リスティング広告に取り組んでいる。	課題：募集定員に満たしていない。 解決方向：教職員一丸となって各々ができる募集活動に取り組む。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入試広報に対する担当者を配置し、志願者、保護者の視点にたった媒体、インターネット情報を作成するように取り組んでいる。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	学校案内、ホームページ、オープンキャンパス等で就職実績、資格取得実績等の教育成果を公表する。	学校案内、ホームページ、オープンキャンパス等で就職実績、資格取得実績の公表、卒業生の活躍等を紹介している。		学校案内 ホームページ 進学情報雑誌、インターネット媒体
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	志願者に対するアンケート調査の志望動機で、「卒業生からの紹介」の項目を列挙し、把握する。	本校への志願理由の一つとして、「治療でお世話になった先生が本校の卒業生」である旨の情報があること、また、本校では、卒業生が推薦する入試制度を導入している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生情報の共通認識をはかり、一人でも多くの活躍している卒業生を紹介し、募集活動に反映するように努めている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試管理会議の議をえて、実施する。	入試管理会議規程に基づく委員による会議を開催し、公正に実施されている。		入試管理会議規程 入試管理会議議事録
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	教員会議等で入試結果を毎月報告し、情報の共有認識をはかる。	教員会議で募集状況等について、報告している。		入試管理会議議事録 教員会議議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考について、入試管理会議により公正な募集、選考が実施されている。また、その推移については、教員会議等で説明を行い、情報を共有している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	教育内容、学生及び保護者の負担感等を考慮し、学納金を設定する。	単位従量制による学費制度を構築し、教育負荷率を考慮した1単位あたりの授業料を設定している。		学生募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	学納金に関する情報とその推移を教職員全員が把握する。	募集要項の配布により、教職員全員に周知をはかっている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金に際し、志願者および保護者が理解できるよう、わかりやすい情報の提供に心掛けている。また、入学辞退に対する対応も明確に提示している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務は、学院全体として、法人本部経理課において、管理している。</p> <p>予算書は、学院理事会、評議員会で審議を行い、作成されている。また、会計監査は、公認会計士のもと、学院監事（外部委員 2 名）、事務局長、財務担当者との打ち合わせのもとに実施され、毎年度適正に収支計算書が作成され、学院理事会、評議員会で審議されている。</p> <p>審議終了後には、教職員全員に対し、決算報告会を実施し、周知徹底に努めている。</p> <p>経費の削減、収入源となる学生の確保に積極的に取り組んでいるが、収支状況は、引き続き、支出が収入を超過する収支計算となっている。</p>	

最終更新日付	2020 年 6 月 30 日	記載責任者	藤井 義巳
--------	-----------------	-------	-------

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	中長期的な学院の財務基盤の安定が第一である。	学校としては、財務基盤となる学納金収入の確保が重要な課題である。	課題：中長期計画に基づいた入学者の目標数値をクリアしなければならない。 解決方向：教職員一丸となった募集活動、退学者の抑制に努める。	
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	大学を所有する学校法人であるため、学院の財務状況をホームページ等で公表する。 職業実践専門課程の認定により、財務状況をホームページ等で公表する。	大学を所有する学校法人であること、職業実践専門課程の認定を受けているため、財務状況は、毎年度、ホームページ等で情報公開している。また、全職員に対し、財務状況の報告会を実施し、共有認識を実施している。		学校ホームページ 2019年度収支計算書 2019年度事業報告書 明治国際医療大学ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財政基盤の安定に取り組み、中長期計画を作成しなければならない。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして作成する。	年度予算、中期計画は、毎年度事業計画を作成した後に予算案を作成し、学院理事会、評議員会等で審議され、遂行している。		2019年度事業計画書 2019年度予算書 学院理事会、評議員会議事録
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	予算は、年度計画に基づき作成し、執行する。	事業計画に基づく予算案を学院理事会、評議員会で審議し、決定した予算案に基づき、業務を遂行している。		2019年度事業報告書 2019年度収支計算書 学院理事会、評議員会議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度の事業計画、予算案は、学院理事会、評議員会で審議されている。 職員全員に対し、財務状況についての報告会を実施し、学院の現状について、教職員全員が情報の共有を行っている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	財務について、会計監査を適正に実施する。	会計監査は、公認会計士のもと、適正に実施されている。		2019年度 監査報告書
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	会計監査を受ける側・実施する側の責任体制を明確にし、監査は年間スケジュールのもと実施する。	会計監査は、学院監事（外部委員）、法人本部事務局長と打合せのもと計画的にスケジュールに基づき、実施されている。		2019年度 監査報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
会計監査は、公認会計士のもと、公正、適切に実施されている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	私立学校法における財務情報公開を実施する。	本校は大学法人であることから、私立学校法における財務情報公開を実施している。		2019年度貸借対照表 収支計算書 監査報告書 財産目録
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	私立学校法における財務情報公開の形式に準じる。	文科省で定められた所定形式で学院ホームページにおいて毎年度財務情報公開を実施している。		2019年度事業報告書 収支計算書 監査報告書 財産目録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学院の財務情報について、学校ホームページ、大学ホームページ等で公開している。 また、決算役員会終了後、教職員全員に対し、財務状況の報告会を実施している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専修学校設置基準、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師に関する法律、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師に係る学校養成施設認定規則、柔道整復師学校養成施設指定規則、あん摩マッサージ指圧はりきゆう教員養成機関指定基準等の法令に基づき、教育を実施している。</p> <p>また、加盟している公益社団法人東洋療法学校協会、公益社団法人全国柔道整復学校協会等の倫理綱領等に基づき、法令遵守の精神を教育に取り入れて教育を実施している。</p>	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行う。	関連する法令を遵守し、適切な学校運営を行っている。		
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	関連法規の授業及び教員会議等により、教職員並びに学生に対し、法令遵守の啓発活動を実施する。	関連法規の授業、教員会議により、啓発活動を実施している。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
鍼灸師、柔道整復師に関連する法令、専修学校設置基準等を遵守し、学校教育を行っている。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
---------------	------------	--------------	-------

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	規程に基づき、個人情報の保護に取り組む。	情報の収集の際には、本校の個人情報保護方針に基づき、実施している。		個人情報保護方針 個人情報保護委員会規程
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	個人情報の保護に関し、教職員・学生等に対する啓発活動を実施する。	教職員には、情報の収集の際には、個人情報の取扱い及び保護について明記するよう努めている。また、研究の際には、倫理審査委員会の承認を得て実施するよう周知徹底を図っている。		臨床研究倫理審査委員会規程

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護に関し、学校が定めている個人情報保護方針に基づき、厳格に対応している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	自己点検・評価は法令に基づき実施し、問題点の改善に取り組む。	毎年度授業評価アンケートを実施し、教育の改善にむけて取り組んでいる。 また、職業実践専門課程の認定に基づく年1回の自己点検・自己評価を実施し、問題点の抽出、改善に取り組んでいる。		自己点検・評価報告書
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	私立専門学校等評価機構作成の様式に基づき実施する。	教育、学生生活を主とした自己点検、自己評価に取り組んでいる。		
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	学校ホームページ等を通じ、関係者に対し、公表する。	教育に対する自己点検・評価については、各授業担当者がその意義を理解し改善に努力している。しかしながら改善項目の内容については、その意図するところが正しく認識されていないことも見受けられることから、定期的な打合せを必要としている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立専門学校等評価機構の様式に基づき、自己点検、自己評価を実施し、その結果を公表する。教育を主とした問題点については、教育委員会、管理運営会議を経て、改善に取り組む。	

最終更新日付

2020年6月30日

記載責任者

藤井 義巳

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	自己点検・自己評価結果はホームページ等で公開する。	職業実践専門課程の認定により、平成24年度から、自己点検・評価報告書をホームページで公開している。		学校ホームページ
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	自己点検・自己評価結果の公開に関する方針を確立する。	私立専門学校等評価研究機構が作成した様式を基に、項目毎に報告している。		
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	関係者に対し、情報を共有し、周知徹底をはかる。	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の開催、管理運営会議で改善項目についての検討を行い、情報共有を実施している。		学校ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立専門学校等評価研究機構の様式を基に、自己点検・評価を行い、その結果をホームページ等で情報公開している。	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校では、次のとおり地域連携に取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民公開講座の実施 定期的に健康に関する公開講座を学校において開催し、健康相談、鍼灸、柔道整復の啓発活動に取り組んでいる。 2. 健康セミナーの講師派遣 3. 高等学校におけるキャリア教育の実施 4. 地域との連携をはかるため、近隣で構成されている工場等協議会に加盟することによる情報の共有 5. 学生通学路の定期的な清掃活動 6. 吹田市並びに大阪市と「津波災害または水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」を締結 	

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	各種関係団体、地域との連携を図る。	近隣で構成されている工場等協議会に加盟し、定期的な総会、研修会に参加。また、学園祭開催等により、近隣の自治会との交流をはかっている。		
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯事業を実施する。	土曜日、日曜日等を利用し、施設を開放し、生涯研修等に取り組んでいる。		
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	健康講座、市民公開講座等の実施により、地域社会との連携を図る。	市民公開講座や学園祭等により、施設を開放している。更に、吹田市からの依頼により、津波災害又は水害時における緊急一時避難施設として開放している。また、附属治療所を設置していることから、健康に関する地域医療に取り組んでいる。		
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか		留学生の入試制度を設けているが、専門学校として諸外国の学校との連携は実施していない。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	ア 方針	イ 現状	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	重要な社会問題が発生した場合において、教職員だけでなく、学生に対しても啓発活動を実施する。	重要な社会問題について、ホームページ、個人に割り当てられたメールを利用し、啓発活動を行っている。		
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	学校として判断する重要な社会問題について、具体的に取り組む。	学校として重要な社会問題については、管理運営会議で具体的な検討を行い、教員会議等で周知徹底をはかることとしている。		

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	2020年6月30日	記載責任者	藤井 義巳
--------	------------	-------	-------